



長浜小 学校だより '11,6,20 校長編集

学校だよりは本校ホームページで、www.hamada.ed.jp/nagahama

ご存じですか？「ふるまい向上県民運動」

ふるまい？二つの意味がありますね。

一つは、大盤振る舞い、なんて言うときの「ごちそうする」「もてなす」こと。もう一つは、立ち居振る舞いとか、立派な振る舞い、なんて言うときの「行動」「態度」のこと。

ふるまい向上県民運動の「ふるまい」は、もう一つの方の「行動」や「態度」のことです。島根県全体で大人も子どもも男も女もみんな自分たちの行動や態度を適切なものに向上させようという運動です。

「次世代を担う一人一人の子どもたちの幸せのために、社会全体、すべての年代でふるまいを向上させていきましょう。」・・・という呼びかけで、昨年度、平成22年度から始まっていて各地で様々な取り組みが行われています。1年生の保護者の皆様だけには県の協議会作成のパンフレットが届けられています。

長浜小学校の取り組み

長浜小学校ではあいさつの声をもっと元気にしたいということで、児童会の生活委員が毎朝昇降口に立ってあいさつ運動をしています。次第に子ども同士のあいさつの声が大きく聞こえるようになってきました。校舎建築関係の皆様からは気持ちのよいあいさつをしてくれるという声もいただき喜んでいきます。

また、職員室に用事があるときは、入り口で、学年・組・名前・理由や目的をはっきり述べて、入ってもいいですか？と許可を求めるようにしています。出るときは「失礼しました。」と言って出ます。職員室は社会性を養う場所として考えています。大人の部屋に入るときはきちんとした礼儀と節度のある態度をとるよう求めています。

学校では教職員が自ら襟を正して子どもたちに指導します。社会スポーツ指導者や子どもに接する地域・家庭の大人が範を示してもらおうとよいと思います。そのためには、礼節に対する大人の理解や価値観をある程度統一する必要もあるかもしれません。いずれにしても私たち大人の「ふるまい」についてこの活動を推進する中で見直してみてもいいでしょうか。

他の都道府県に先駆けて推進されている「ふるまい向上県民運動」、ぜひ保護者の皆さんの参加をお願いします。

6年生に協力を・・・自立自律と共生に向けてがんばっています



○自分の判断と能力で生き抜けるように

- ・自分でできることを増やそう
…君はどう思う？目的は何？
- ・なんでもやってみよう
…どうせだめと思わずに挑戦しよう

今年度初めての児童総会

児童会の各委員会の委員長が前に出て全校児童に活動のめあてや方針・委員会からのお願ひなどについて説明をしました。全校を前に緊張します。6年生の各委員長は用意した説明文を手に、立派な態度で発表しました。

今年度から児童会に各委員長で組織する「企画委員会」を置きます。その会の会長は長浜小学校児童会を代表することになります。裏面を見てください。

自分のため・人のために挑戦する態度を賞賛します。それを冷やかしたり笑ったりする態度は許しません。

北九州に修学旅行

○自分の判断と能力で生き抜けるように

- ・分別を身につけよう…したいことだけ？
…「してはならない」「しなければならない」を学ぼう

○多様性を認めて共に生きられるように

- ・みんなと一緒にだからこそ楽しかったという経験をしよう
- ・声をかけよう コミュニケーションしよう



日本の産業や歴史、地球環境など、学習してきたことについて目標を持って体験しました。

写真でおわかりのように、どの場面でもけじめのついた礼節のある態度でした。無駄な時間が少なくとても楽しい時間でした。班長を務めた子、必要な係

を受け持った子、それぞれが役割を果たしながら大切にしながら経験を積んでいます。

失敗もありますが、今、正に育っている最中です。

